

平成28年度の下水道の決算状況



下水道事業は、地方財政法で公営企業に位置付けされ、独立採算制を基本としていることから、「一般会計」とは区別し、本市では「特別会計」により運営をしています。

これは、下水道事業での歳入（使用料等）と歳出（下水道の建設費、維持管理費、資本費（元利償還金））を明確にし、経営状況を明らかにするためです。

この度、下水道事業の平成28年度の決算状況が確定しましたのでお知らせいたします。

当市においては現在、下水道使用料金のみで事業を行うことができない状況ですが、なお一層の経費削減に加え、下水道普及促進活動により経営の健全化に努めてまいりたいと思います。

なお、平成29年3月31日現在の普及状況は、次のとおりです。

- * 下水道が使用可能な人口（外国人含む） 52,650人…①
 総人口（行政人口）に対する普及率 64.1%
- * 下水道を使用いただいている人口（外国人含む） 45,342人…②
 下水道が使用可能な人口に対する接続率（②／①） 86.1%

【全体の歳入・歳出】

歳 入

単位：千円

受益者負担金等	下水道使用料 (一般+八幡原工業団地)	国庫補助金 (交付金)	市債 ※1	一般会計 繰入金	その他	繰越金
37,863	1,167,071	613,200	1,103,200	593,911	6,406	339
対前年度比 △4.1%	対前年度比 △0.7%	対前年度比 +56.1%	対前年度比 +1.7%	対前年度比 +10.1%	対前年度比 +950.5%	

※1 「市債」…建設費や借入金の元利償還に充てるための借入金です。

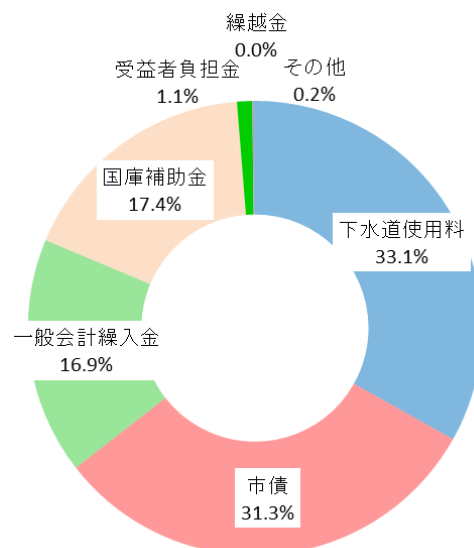
歳入計 3,521,990 千円

対前年度比 8.4%

「国庫補助金（交付金）」の収入が増加しているのは、米沢浄水管理センターの長寿命化計画による改築工事を実施したことから、国庫補助金（交付金）が増額となったものです。

「一般会計繰入金」が増加しているのは、「建設費」の歳出が増加したことによるものです。

「その他」が増加しているのは、消費税額の確定により、還付金が増えたことによるものです。



歳 出

単位：千円

総務費	施設維持管理費	建設費	資本費（元利償還金）※2
186,651	442,174	1,309,374	1,567,936
対前年度比 △5.7%	対前年度比 △5.9%	対前年度比 +40.5%	対前年度比 △4.9%

※2 「資本費」…借入金（市債）の元利償還金です。

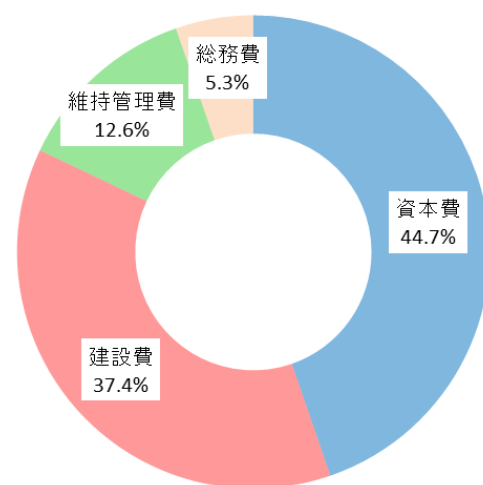
歳出計 3,506,135 千円

対前年度比 7.9%

「総務費」が減少しているのは、消費税額の確定により、納付額が減少したことによるものです。

「施設維持管理費」が減少しているのは、米沢浄水管理センターの修繕料及び管渠の維持管理業務委託料が減少したことによるものです。

「建設費」が増加しているのは、米沢浄水管理センターの長寿命化計画による改築工事を実施したことによるものです。



歳入額と歳出額の差である 15,855千円 は、次年度へ繰越となります。